

## [ 計測器の熱中症 に注意しよう！ ]

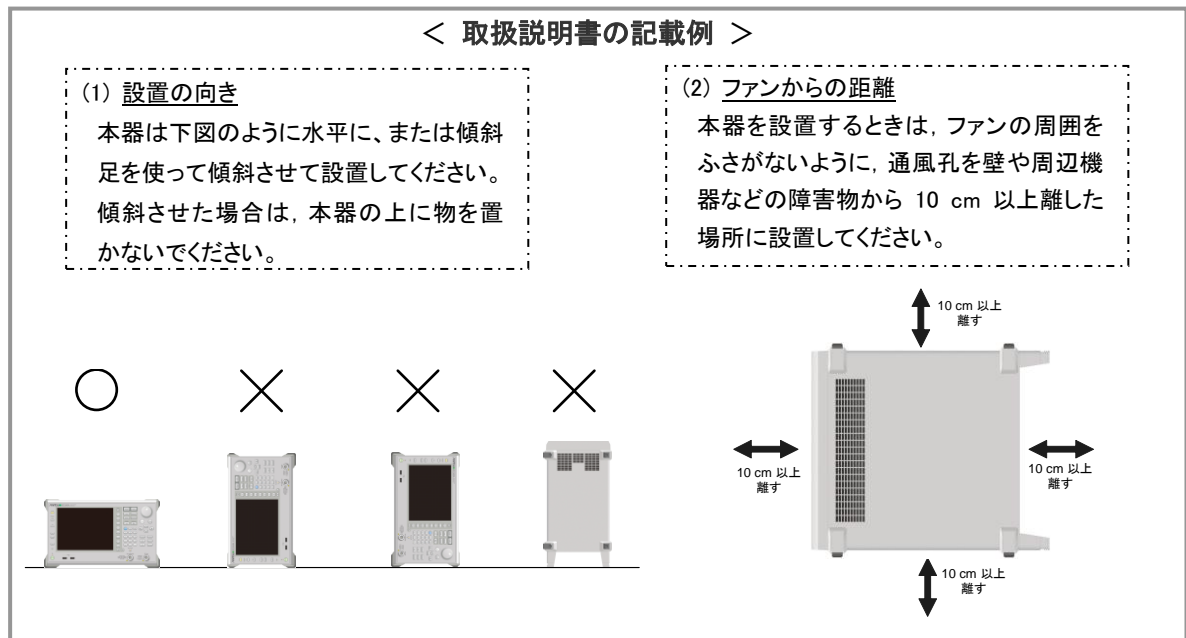
### - 電子計測器の保守サービス 20 年 田中のアドバイス(第 2 回)-

今年は、6 月から各地で猛暑日となり、その後も暑い日が多かったことから毎月の平均気温や最高気温が過去最高になった所も少なくありません。また節電対策による室温の上昇などにより、特に今年の夏は、ご使用の計測器の温度環境も平年より悪化しているのではないのでしょうか。

計測器の内部温度の過度上昇は、電解コンデンサや半導体などの使用部品の寿命を短くして機能や性能の劣化を招いたり、故障の原因になります。熱くても計測器は、壊れるまで頑張っています。

#### 1. 設置方法は正しいですか？

間違った設置は、機器の内部温度上昇の原因となります。正しい設置方法は計測器によって異なりますので、お使いの計測器の取扱説明書をご確認ください。



#### 2. 放熱ファンに“ほこり”が溜まっていませんか？

多くの計測器には、放熱用のファンが搭載され機器内部の“熱”を効率よく排気してくれますから、適切な設置に加えて定期的なメンテナンス(動作点検あるいは校正を含む)が実施されていれば、長い期間安心してお使いになれます。

ところが修理依頼品の計測器の中には、放熱ファンに“ほこり”がたっぷり付着していて、本来の放熱効果が得られていないものが見受けられます。屋内使用でも意外に“綿ほこり”が多く、私たちが修理用の設備として使用している計測器のファンにも気付かないうちに多くの“ほこり”が付着していました。(写真参照)

機器のメンテナンスについては、取扱説明書に記述があります様に、ファンカバーや通風孔の“ほこり”を小まめに除去しましょう。その際、掃除機などで“ほこり”を吸い取るのが、簡単で確実な方法です。

